

必ずしも事業に繋がらない開発という特異性に対応したマネジメントが必要です。

研究開発と技術人材育成のための技術部門マネジメント

日時	案内メール、HP をご覧ください。	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	得られる知識、スキル	
・ 開発部門管理者、マネージャー ・ 管理者候補のリーダー ・ 新事業、新商品開発、企画等に携わる人	・ テーマ、事業創出スキル ・ モチベーションマネジメント ・ コミュニケーション、情報共有	
概要	<p>激烈に変化する社会やニーズ対応するには、成長はもちろん、現状維持ですら新技術、新商品を生み出していかなければなりません。この中核を担うのが技術部門です。ここで重要となるのがマネジメントですが、技術部門マネジメントは、研究開発業務をマネジメントすれば良いわけではなく、蓄積した技術や人のマネジメントはもちろん、マーケティング、人材育成など多岐にわたる複雑なものであり、技術部門のマネジメントには他部門とは異なる考え方、対応が必要となります。</p> <p>本講演では、複数企業でのテーマ創出から具現化、指導育成、マネジメントの実務経験、様々な状況、目的に合わせたコンサルティングによる知見をもとにした、実践に即した新事業、新商品開発のアイデア創出から開発実務、人材育成といった技術マネジメントについて技術者目線、技術者の立場で詳細に解説します。</p>	
<ul style="list-style-type: none">● 【イントロダクション】 企業においてものづくりとは何かという基本と共に、そこで求められることについてイントロダクションとして整理します。● 【実務マネジメント】 まずマネジメントの基本として技術部門はもちろん、全ての部門、業務に共通するマネジメントの考え方と遂行について重要ポイントを中心に解説します。● 【技術部門マネジメント】 他部門とは異なる技術部門のマネジメントは何か、そして、人を育て、成果を出すためのマネジメントの考え方について、技術部門マネジメントの特徴も踏まえつつ解説します。● 【技術部門マネージャーが求められること】 技術部門を束ねて成果を出すために、技術部門のマネージャーが求められる現場マネジメントのポイントについて解説します。● 【テーマ創出】 開発部門がその役割を果たすために必須のものであるテーマ創出をどうマネジメントするかについて解説します。● 【目的と目標】 商品開発、技術開発はもちろん、業務を行う上で基盤となるものであるにもかかわらず正しく理解されていない目的・目標について改めて解説します。	<ul style="list-style-type: none">● 【計画】 マネジメントの中核をなすものの一つである計画の考え方と遂行について、マネージャーの役割も含めながら解説します。● 【モチベーションマネジメント】 成果のレベルを決めるものとも言えるモチベーションについて、その基本からマネージャーの役割も含めて解説します。● 【技術マネジメント：創出・継承】 研究開発テーマの推進以外の技術部門マネジメントに求められる重要なものである技術の継承と共有化について解説します。● 【技術部門の評価】 マネジメントの重要な要素である評価について、広く取り入れられている目標管理、成果主義の課題、技術部門特有の難しさも踏まえつつ解説します。● 【技術部門における指導と育成】● 【指示の出し方】 その一つ一つが成否を左右するとも言える日々マネージャーが発する指示について、どのような指示が求められるのか、どうすれば部下が自律的に動くのかといったことも含めて解説します。● 【まとめ】と質疑	
お申し込み	詳細は、HP をご覧ください https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>
e-mail : haru777@star.email.ne.jp